

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

登録ボランティアグループ紹介

はちはち

その14

88ボランティア

・グループ立ち上げのきっかけは…

昭和63年(1988年)に社協が行った「初級ボランティアスクール」を受講した有志が、学んだことを生かしていこうと立ち上げました。

・名前の由来は…

1988年にグループができたので「88ボランティア」(はちはちボランティア)と名付けました。

・どんな活動をしていますか…

社協ニーズに応えるボランティアとして、初めはれんげ荘で在宅寝たきり高齢者等の入浴サービス事業のボランティアを始めました。続いて社協が始めた余り毛糸収集の毛糸を使い、モーターを編んでつなぎ、ひざ掛けにする活動を始めました。現在まで2200枚ほど作り、最初は市内の在宅高齢者に、現在は福祉施設で利用していただいています。その他社協で収集している、使用者み切手やテレホンカード、書き損じはがきなどの整理をしています。

・メッセージ

モーターひざ掛けを手渡した時の笑顔は、忘れることができません。それを励みに活動しています。会員も減少しているので、自分たちのできる範囲の活動をしていきたいと思っています。毎週水曜日午前9時から午後3時30分まで大町市総合福祉センターで活動していますので、興味のある方は、お気軽にお立ち寄りください。一緒に活動しませんか!!

市内の小学4年生から中学3年生を対象に「小中学生ボランティア塾」を開催します。期間は、6月から2月まで毎月1回、土曜日の午前9時30分から12時まで、全9回行います。会場は、大町市総合福祉センターです。

内容は、
車いす体験とボッチャをしよう
点字体験をしよう
手話で会話してみよう
要約筆記を体験しよう
朗読体験しよう



25年度ボラ塾「車いすボッチャ体験」

小中学生ボランティア塾

大人ボランティア塾も開催

今年もやるよ!! 塾生募集!!



ユニバーサルデザインを採ろう
「ひまわりの家」に行こう
高齢者疑似体験をしよう
みんなでゲームを楽しもうです。

指導は、障がいのある方やボランティアが行います。実際の体験談を聞きながら交流しましょう。開催案内は、学校を通じて配布します。

申し込みは、**直接大町市社協**までお願いいたします。

また、今年度の新たな取り組みとして「大人ボランティア塾」もあわせて行います。小中学生と一緒に体験してみたい方ふるってご応募ください。詳細は、6月1日号の社協おおまちをご覧ください。

申し込み・問い合わせ
大町市社協 TEL 22-1501
FAX 22-7071



善意を届ける

家でできるボランティア

お寄せいただいた使用者み切手、テレカ、書き損じはがき、プリペイドカードを

88ボランティアが整理して

段ボール6箱に詰めて

「誕生日ありがとう運動本部」へ送付

誕生日ありがとう運動本部は、知力障がいの問題を啓発している団体で、使用者み切手などは社会への啓発資金として活用しています。

大町市ボランティアセンターでは、福祉活動に協力するため引き続き収集活動を行っています。使用者み切手、使用者みテレカ、各種プリペイドカード、書き損じはがき、ベルマーク、不用はがきなど。また、未使用の切手・テレカなどで不要なものがありましたら、収集していますのでご協力ください。

※お願い

・使用者み切手は、台紙からはがさずにギザギザを切らないように、切手の周りを1センチ以上残してください。封筒のままでOK!



切手の旅立ち

利用ください!!

点訳本

視覚障がいの方々に、点字で情報を届けている「大町点訳ほたるの会」は、4月12日に点訳本3タイトル全8冊を大町図書館に納めました。
点訳本を紹介します。どうぞご利用ください。

『神様のカルテ』 夏川草介著 全3巻
美しい信州の情景、命を預る仕事の重み、温かい夫婦の絆、信念をもって医療に従事する彼の姿が、時には意見を異にする人々も変えていく。そんなところが私たちにも勇気を与えてくれる!

『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺和子著 全2巻
9歳の時、二・二六事件で父を目の前で暗殺され、36歳で岡山ノートルダム清心女子大学の学長となった著者が、生きるための心にしみるメッセージを私たちに届けています。

『奇跡のリンゴ』 石川拓治著 全3巻
ニュートンよりも、ライト兄弟よりも、偉大な奇跡を成し遂げた男の物語。「死ぬくらいなら、その前に1回はバカになってみたらいい」

引き続きご支援ください!!

東日本大震災義援金

ご協力ありがとうございます。

ご協力いただいた義援金は、日本赤十字社を通じ被災地へ送金しています。

3月31日現在の義援金額は、30879403円です。

引き続き、義援金の受け付けを行っています。

受付場所 大町市総合福祉センター
大町市役所

受付期限 平成27年3月31日(火)まで

申込締切 5月30日(金)まで
問い合わせ先
大町市ボランティアセンター
(大町市総合福祉センター内)
TEL 22-1501

対象になる事業は
①学習・研修活動(勉強会・視察研修・スキルアップ講座等)
②広報・教育活動(広報紙発行・講演会の開催)
③活動に必要な福祉器具等の整備
④環境美化や施設訪問など
助成額は
対象事業に要した経費の1/2
限度額 5万円
助成期間 1年
申込締切 5月30日(金)まで
問い合わせ先
大町市ボランティアセンター
(大町市総合福祉センター内)
TEL 22-1501

「ジンリキ」は、緊急避難時はもちろん砂利道や急な坂道でも、車いすの前輪を浮かせて引くことができる装置で楽に移動できます。また、普段使っている車いすに取り付けるだけで、多少の悪路も安定して進むことができます。

4月16日(水)みぎやデイスサービスセンターで、松川村のちひろ美術館へお花見に出かけた時、「ジンリキ」での乗り心地を確かめてもらいました。満開の桜並木を散策した利用者は、「まるで人力車の様だ。乗り心地はすごく良い。おかげで満開の桜と神社のお参りもできた」とうれしそうに話されました。

これから、お花見の季節です。車いすでお出かけの際は、是非「ジンリキ」をご活用ください。



「ジンリキ」を装置して移動中

追加!! 貸出し備品

利用できる方
市内で活動する団体か個人(社協一般会員に限る)
利用料 無料
利用方法
社協窓口で申請用紙に記入
大町市総合福祉センター内
大町市社会福祉協議会
TEL 22-1501

まずは登録!! 大町市ボランティアセンターに

大町市ボランティアセンターでは、市内で活動しているボランティアの育成と活動の支援を図るため、ボランティア登録の受付を道場行っています。

登録できる団体は
①ボランティア活動を行う意思のある団体
②活動が公共性や社会性があり、政治的・宗教的・営利目的がないこと。
③市内に活動拠点を有し、代表者が明確であり、団体の活動内容を公表できる団体。
④ボランティアセンターと連携をとるとともに、市社協の行う事業に協力できる団体。

登録するメリットは
①ボランティア活動保険に加入ができる。

ボランティア 活動助成金

登録ボランティア団体が行う、地域福祉活動の推進をはかるための活動に要する経費に対する助成金の申請を受け付けています。

今年度は、申請事務説明会を開催します。

日時 5月13日(火) 午後1時30分
場所 大町市総合福祉センター
2階大会議室

き、掛金補助が受けられます。

②ボランティア活動助成金の申請ができます。

③大町市総合福祉センターの会議室使用料が無料になります。

④コピー機・印刷機・パソコン・インターネットが使用できます。

⑤ボランティア情報紙等に、団体紹介やイベント情報を掲載できます。

※既に登録のある団体の登録更新手続きの受付も行っています。

福祉啓発標語入選作品

ぼくたちの
え顔でみんながばいあわせに
西小3年 齋藤航輝